

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

多古町教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 多古町立多古第一小学校)

「算数科 自分たちのデータを集計・整理する学習」

二次元表の学習で、児童の実際のデータを扱い、学習の意欲向上を図った。教育クラウドサービスを活用し、質問票の配付やデータの回収を行い、回収したデータを新しいシートで再配付し「思考ツール」を使って分類する授業を展開した。



メリット

○従来のように教科書にある与えられた情報を処理するのではなく、自分たちのデータをその場で整理することができる。

⇒回収した情報をPDFからJPEGにする作業をT2が並行して行えば、すぐに整理する活動に入ることができる。

○情報の可視化だけでなく、児童の思考を可視化することで、協働的な学びの場を作ることができる。

⇒児童用タブレット画面をスクリーンに映し出すことで、考えを共有できる。

2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 多古町立多古中学校)

「特別活動; クラスの仕の掟を考えよう」

特別活動の授業で、フォーム作成ツールを活用した。一人一台配布されているタブレット端末を有効活用できた。また、プレゼンテーションソフトウェアを活用してルール作りの留意点や今後の流れを共有することができた。



メリット

○フォーム作成ツールを活用することで、集計した結果を全体で確認することができる。

⇒誰が何に投票したのかわからないため、自由に投票できる。集計がすぐにできることで話し合い活動、発表活動等に時間を有効に活用できる。大型液晶画面に映し続けることも可能で、話し合いの参考にもなる。

○プレゼンテーションソフトウェアを活用することで、全体で共有できる。

⇒何度も留意点について確認することができる。